

2021年度 総合実習(地域看護学講座担当) 実施計画案

担当： 田村須賀子
陶山 公子
城 諒子

1. 期間と日時：4年次 11月15日から11月26日 月～金曜日(9:00～17:00)

ただし実習施設の都合、開催事業により、より学習効果を高められる方法を検討して、別の日時に振り替えることがある。

2. 場所：看護学科棟 7階 地域看護学実習室(記録・自己学習用)

ただし、カンファレンス等で使用する部屋は、別に指示する場合もある。

実習施設は、次の①～②のうち1つを選択する。

- ① 地区活動(上市町) Max 5名まで
- ② 富山大学附属病院医療福祉サポートセンター&在宅療養支援診療所 Max 5名まで

3. 一般学習目標

看護における科学的思考力を高め、マネジメント能力を養うことを通して、対象(個人・家族を含む集団)や場に応じた看護を行うための総合的実践能力を習得する。並びに、総合的看護実践を通して看護の専門性について考え、自己の看護観を深める。

4. 到達目標

- 1) 4年次前期までに既習した実習内容、看護研究をもとに、自己課題を述べることができる。
- 2) 自己課題から、総合実習のテーマを述べるができる。
- 3) テーマに応じた実習先を選択することができる。
- 4) 自己課題に基づき対象に必要な援助について計画を立案することができる。
- 5) 自主的かつ主体的に対象に応じた看護を行うことができる。
- 6) 自己の看護実践について、自己評価することができる。

5. 進め方

- 1) 実習開始前に自己の課題に基づき、実習計画表を作成する。
- 2) 実習計画表作成後(10月以降)に実習希望場所の指導者に学生の実習計画について説明を行う。
- 3) 学生が立案した計画について教員及び実習場所の指導者の指導のもとに実習を展開する。

6. 評価について

- 1) 出席状況・実習態度・実習記録、課題レポート・個別面接等により総合的に評価する。
- 2) 課題レポートは、一般学習目標、到達目標に向けて、総合実習で学んだことを A4 1枚(両面可)にまとめ、12/10 正午まで 田村に提出する。

以上 Hearn System シラバスをもとに、地域看護学講座が担当する部分を加筆修正して作成した。